



8 2023

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」あります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 全地区社会活動委員会のつどい
- ☆ ラジオ「信仰の時間」山口武史神父
- ☆ 2024年度からシノダリティ学校高等学舎(学舎)
- ☆ 平和旬間行事案内
- ☆ ガラシア健康だより②
- ☆ カテキズムの学び
- ☆ 「生きる」難民移住移動者
- ☆ 「ユースト高山石近の生涯学習会
- ☆ jho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。



聖母女学院 創立100周年 記念式典



1923年 大阪市玉造に聖母女学院創立・開校 - 創立100周年記念サイトより

6月10日11時より、聖母女学院創立100周年記念式典・祝賀会がホテルニューオータニ大阪で開催された。

※同学院は現在、香里ヌヴェール学院小・中・高等学校と京都聖母女学院小・中・高等学校ならびに京都聖母女学院幼稚園・保育園・聖母インターナショナルプリスクールを運営

小学校児童による美しい聖歌の合唱で開会の後、前田万葉大司教より「100周年 誠におめでとうございま

す。当時の司教様の招請を受け、玉造の地で始まったヌヴェール愛徳修道会の教育活動は、シスターたちがおられなくなった今もその精神を大切に受け継がれている。これからもどうか頑張ってくださいたいです」と励ましの言葉をいただいた。続いて京都教区の大家喜直司教、ヌヴェール愛徳修道会のシスター 幸川ゆかり地区長をはじめ来賓の祝辞をいただき、最後に大司教によるお祈り



※「新生の明日を求めて」読書会 本紙最終面「来て見なさい」 サクラファミリア主催講座一覽掲載

の大切さが指摘され、緊張は恵みというアジアシノダス参加者からの励ましもあった。

2日目は大阪教区のシノダス担当チームの、六甲教区の吉村信夫さんから大阪教区の動きを指摘いただいた。3分の2が女性の教会の現実、役員など次の世代へと移行しない組織、出会いの場・育成の場の多様性の確保、そして教会の識別



大阪教区司牧者研修会

共に歩む 教会のありかた

6月13日〜14日、大阪教区の司牧者57人が参加する研修会が、サクラファミリアで行われた。今年のテーマは「シノダリティから大聖年、そして大阪万博へ向かう大阪教区」として、コロナ流行後からの教区を、どのように活性化していくのかを探った。

初日は、今までの大阪教区の確認として、2月に行われたアジア大陸別シノダスの参加者、高松教区の若手司祭高山徹神父とJLMMの女性職員 辻明美さんからの報告から始まった。アジアの多くのキリスト者から刺激を受け、熱のこもった報告であった。最後には、アジアの参加者からのビデオメッセージが紹介され、共に歩む中での協働する喜びに、大阪教区の司牧者も巻き込まれていった。

それに応答して、司牧者は10のグループに分かれて、大阪教区の課題、新生計画における課題を分

大分教区第二代司教 ヘトロ平山高明名誉司教帰天



平山高明名誉司教は、7月15日、明野司祭の家で老衰のため帰天。99歳。ソウル市出身。1957年に司祭叙階(福岡教区) 62年。パリ・

カトリック大学大学院で宗教教育学及び児童教育学修士課程卒業。69年大分教区司教に任命。70年司教叙階。74年〜2000年、日本司教協議会国内移動信徒委員会、要理教育委員会、信仰教育委員会、殉教者崇敬促進委員会、信徒使徒委員会の委員長を歴任。2000年大分教区長を引退。20年司教叙階50周年。



シノダリティに関するアジア大陸総会最終文書(日本語訳)

QRコード読み取り▶



外国の若者によって教会が支えられている現実、共同責任が弱くなっている、組織維持から共に歩む視点の確立、色んな教会のきずなを活かすこと、教会はいやしを与えているか、教会の遺産を活かしているかなど、多くの意見が交わされた。シノダリティは出会う文化だと語る司牧者のように、読書会でも交わされた、「あの当時は一人ひとりの熱意が伝わっていったのですね」という言葉のように、今回の司牧者研修会には参加した司牧者の交わりから次の動きが出てくるのかもしれないと感じられた。

(文 大阪教区司牧者研修会 担当司祭 松浦信行)



創立100周年記念式典に集う同窓生

【主催者の感想】 式典・祝賀会を通して、多くの同窓生や旧教職員がたいへん喜んでくださり、母校との絆を再確認する良い機会をいただいたように思います。また日ごる学校運営に協力いただいている西脇京都府知事、山口大阪府副知事をはじめ、関係の皆さまが多数参集くださり、学校法人への熱い期待を実感するひとときとなりました。この100年間、導きお守りくださった皆さま、そして多くの恩人の皆さまに感謝の祈りをおさげすると共に、創立の原点を胸に刻み、カトリック学校としての歩みを進めてまいります。